



協力隊新聞



この大きな鏡により、新たな天体現象を発見できるかもしれません。

今も活躍している、国立天文台岡山天体物理観測所の一八八センチメートル望遠鏡は、一九六〇年に作られました。二八八センチメートルとは、望遠鏡に搭載された「鏡」の直径。鏡が大きいほど、天体のわずかな光を集めて観測できます。設立当時、日本一大きな望遠鏡でした。この望遠鏡に加え、京都大学三・八メートル望遠鏡が浅口市にやってきました。完成すれば東アジアで一番大きな望遠鏡です。十八枚の分割鏡を並べ、直径三・八メートルの鏡になります。

京都大学 三・八メートル望遠鏡

いよいよ岡山天文博物館が、三月末にリニューアルオープン。そこで今回は「天文のまちあさくち」の進捗状況をリサーチしました！

「天文のまちあさくち」の、進捗状況をリサーチ！

また、望遠鏡とは思えないジャンクルジムのような形状は、望遠鏡の軽量化を実現。すばやく望遠鏡の方向を変えられます。宇宙の謎の解明に期待が寄せられています。

新しい望遠鏡は現在、ピカピカの天文ドームの中で組み立て中です。一月に天文博物館が実施したモニターツアーでは、一八八センチメートル望遠鏡だけでなく、京都大学三・八メートル望遠鏡もお披露目されました。鏡を取り付け、調整すれば完成という状態です。夏には京都大学による観測が開始する予定です。一八八センチメートル望遠鏡は、研究者の方々により、今後も使用されることとされています。

岡山天文博物館

外観が一新され、新しいプラネタリウム、京都大学三・八メートル望遠鏡を学べるスペースなど、さらに楽しめる場にパワーアップ。三月二十三日（金）に記念式典があり、一般の方は三月二十四日（土）から入館できる予定です。

館内のショップには天文グッズに加え、浅口の特産品なども並ぶ予定です。天文博物館のリニューアルを機に、市内では「天文のまちあさくち」にちなんだ新商品の開発も進んでいます。新たな浅口を発信する場になっていくかもしれません。

庄司隊員の天文イベント

浅口市地域おこし協力隊・庄司隊員は、天文博物館主催のイベントのお手伝いに加え、独自で天文のイベントを開催しています。例えば「星空入門・自分にあった星空の楽しみ方を見つけよう」ではフェイスブックで参加者を集め、星空の楽しみ方を提案。また、通りすがりの人に望遠鏡を覗いてもらう試みも。

「天文のまちあさくち」だからこそ市内で天文に触れる機会を増やせればと取り組んでいます。

浅口市地域おこし協力隊のフェイスブックでイベント告知を行っているので、見てみてください。



岡山天文博物館 完成予想図！



庄司隊員が開催 「星空入門・自分にあった星空の楽しみ方を見つけよう」の様子

そもそもなんで浅口市にはこんなすごい天文台が2つもあるの？

- ・晴天率が高く、観測可能日が多い
- ・大気が安定していて、星空が観測しやすい
- ・交通アクセスがよく、研究者が通しやすい

浅口の暮らしやすさを実感できる項目ばかり…！

角能里香、卒業します。



平成29年4月着任の角能里香 隊員、3月で浅口市地域おこし協力隊を退任し、静岡へ。

浅口で過ごした日々は、穏やかな風土を肌身に感じながら、沢山の素敵な出会いに恵まれました。

私は主に地域活動の支援というのが協力隊活動の軸にありましたが、元気で前向きな地域の方々に触れて、逆に私の方が元気づけられてばかりでした。どこへ行っても「来てくれてありがとう」と暖かく迎え入れてくださり、本当に嬉しかったです。

4月からは、ご縁あってチャンスをいただいた静岡で、ずっと夢だった宿開業に向けて頑張っていきます！ またいつか成長した姿で、浅口市に帰ってきたいと思いますので、それまでどうぞ元気で過ごして下さい。

いつも応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。



地区行事に多数参加！



寄島・国頭、空き家活用プロジェクト

天文のまちあさくち

写真コーナー

空が綺麗で晴れの日が多い浅口市は、天文を楽しむのに最適♪

皆既月食見えました！



天文もんコメント

1月31日に、月が地球の影に完全に入り込む「皆既月食」を見ることができました！赤銅色の神秘的な月を楽しみました。

photo by 鹿司



編集後記

いよいよ三月末に、岡山天文博物館がリニューアルオープンという事で、一面に掲載しました。地域おこし協力隊もお手伝いさせていただいておられます。天文のまちあさくちのこれからが楽しみです。

二・三面の地域活動の特集では多くの方に取材にご協力いただき、感謝しております。紙面には限りがありますが、フェイスブックでも日頃から地域の取り組みを紹介させていただきます。ぜひご覧ください。

角能隊員が退任し、寂しいですが、彼女にとっては夢への前進。私たちが浅口市でがんばります。次回の協力隊新聞もお楽しみに！（小林）

お問い合わせ先

浅口市役所 地域創造課 ☎ 0865-44-9034
chiikisozo@city.asakuchi.lg.jp

地域活動の支援 / 沖村・角能
天文のイベントとPR / 庄司
情報発信 / 小林

情報発信サイト

Facebook 星と海のまちあさくち市地域おこし協力隊
www.facebook.com/asakuchi.kyoryokutai

Instagram love_asakuchi 浅口市の魅力を写真で発信中 #あさくちさんぽ

鴨方町 小坂東

ごみ 護美ダイエットカレンダー・笑楽公 宮ノ前町内会

ごみ
護美ダイエット・カレンダー（各種ゴミの日、町内会イベントなどが、一目瞭然）をオリジナルで作成し、町内会で配布されています。
ペットボトルのキャップを集めて寄付したり、新聞・雑誌・鉄くすなどはリサイクル業者に販売し、町内会運営費に充てられています。

1月には第5回「笑楽公」として「デコ巻き寿司づくり」のイベントを開催。すぐに満席となる人気ぶりでした。町内会の範囲を飛び出しての笑顔をつくる地域づくりです。
国から「地域づくり団体」として助成を受け、大阪・広島から先生をお呼びしました。



デコ巻き寿司づくりの様子。
〈町内会長・原さんから話を伺いました〉

杉谷ならではの景観を守りたい 杉谷里山づくりの会

杉谷地域の里山である「杉山」を中心に、森林の整備をされています。平成27年に結成し、4町内会の35人で活動中。杉山城跡がある山頂からの眺めは最高です。昔から親しまれてきた、市内でもファンが多い登山道で「最近道がきれいになって景色もいい」と話題です。

昔は薪を使った生活そのものが、森林の整備に繋がっていました。山に木が少なく、高い木も無く、麓の何処からでも登れたそうです。しかし生活様式が変わり、木が伸び放題に。「また景観を楽しみながら山登りができるように」と活動が始まりました。里山づくりを通じ、①地域活性化、②地域内連携、③生きがいづくりに取り組まれています。
杉谷の散策がより楽しめる情報をフェイスブックで発信中。「神元 覚 杉谷里山づくり」で見つけてください。



杉山
〈会長は田上義元さん。今回、副会長の神元さんから話を伺いました。〉



山頂から



杉谷里山づくりの会

金光町 佐方 「ひがさき踊りを踊りたい」小学生をサポート 佐方ひがさき踊り保存会

12/17(日)、金光キッズフェスティバルで金光吉備小の1～4年生の15人が、500年の歴史ある佐方ひがさき踊りを披露しました。
伝統を守り継承したい保存会の皆さんと、その価値を伝える学校の先生方、そして踊りたいと自ら手を挙げた子どもたちとのタッグにより、実現しました。
小学校の体育館で2度の合同練習を経て、本番は大成功。
伝統を守り継承したい保存会の皆さんと、その価値を伝える学校の先生方、そして踊りたいと自ら手を挙げた子どもたちとのタッグにより、実現しました。



〈練習・本番に密着取材させていただきました〉

金光町 下竹 「桜島大根品評会」で世代間交流 下竹地区・いきいきサロン竹クラブ

下竹地区では多くの方が桜島大根を育てています。今年2/9(金)に第14回目となる桜島大根品評会を開催し、28点もの桜島大根が並びました。大きさ・形の表彰や、桜島大根づくしの昼食など、イベントが少ない冬における貴重な交流の場です。
今年インフルエンザにより出席が叶いませんでしたが、金光竹小3年生も桜島大根を育てています(今年も優勝!)。下竹地区では夏の流し素麺、秋祭りなどにも小学生が参加し、人数が減っているからこそ地区での世代間交流を大切にされています。



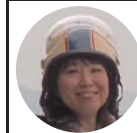
〈坂口区長にお話を伺いました〉

寄島町 中安倉 サロンカフェで集う場づくり カフェいきいき中安倉

以前からサロンは寄島東公民館で開催されていましたが、坂の上であり、お年寄りの方が行きづらいという悩みがありました。「より多くの方が集える場を」と、地区の中心にある、消防機庫に隣接した公会堂の1階を、男性陣の協力を得てお掃除。平成29年9月から毎月1回、「カフェいきいき中安倉」を開催しています。1回100円、お茶やお菓子を楽しんだり、脳トレとして指先の運動や、塗り絵など、明るく賑やか。カフェ開催の日は、室内も特におしゃれに飾り付けられています。
住む人が少ない地域で暮らすお年寄りにとって、家の外で人とのつながりを感じられる機会は大切です。カフェを開催するようになって、カフェ以外の場でも、一人暮らしのお年寄りを気にかけるような雰囲気になってきたといいます。



〈立ち上げから携わっている黒川さんにお話を伺いました〉



ライダー・ライター小林の
pick up! あさくち

教えてください!
みなさんの地域活動!

2/25(土)に開催された「地域チャレンジトーク vol.3」。市内3地区からそれぞれの地域活動について発表していただきました。
今回の協力隊新聞では、地域チャレンジトークにちなみ、市内5つの地域活動をピックアップ。それぞれの課題に、それぞれの工夫で取り組まれています。皆さん、「地域ぐるみでイキイキと暮らしていきたい」という想いを持っていらっしゃいました。

